

整備内容及び利用状況

かねやまふれあい広場



施工前



施工後

麻生の渡し広場



施工前



施工後

利用状況

- ・道路利用者が休憩し、奥会津の自然を楽しんでいます。
- ・只見川の景観を楽しみ写真撮影を行う様子が見られます。また、国道252号の利用者に休憩施設としても使用されています。

(町担当者)

■今回整備された「かねやまふれあい広場」は、来訪者の利用が多く評判がよいです。

管理状況

- 柳津ビューポイント「麻生の渡し広場」
柳津町麻生行政区と県が、日常の清掃、植栽の剪定、除草防虫等について管理協定を締結。
- 金山ビューポイント「かねやまふれあい広場」
柳津町麻生行政区と県が、日常の清掃、植栽の剪定、除草防虫等について管理協定を締結。

関係機関

- 福島県 会津若松建設事務所 企画調査課
- 金山町地域振興課
- 柳津町地域振興課

TEL : 0242-29-5455
TEL : 0241-54-5311
TEL : 0241-42-2117

只見川の自然景観やふるさとの原風景の提供

会津若-5

国道252号沿線地区

金山町、三島町、柳津町

会津若松建設事務所
計画期間:H19~H20

地域づくりの方針

本地域の特徴である自然環境が地域資源となりえることから、魅力ある資源を掘り起こし、周知されれば、より魅力的な地域として発展させることができる。また、尾瀬国立公園の玄関口としても期待されるため、国道252号を来訪者に対する「おもてなしの道路」と捉え、自然景観やふるさとの原風景を来訪者に提供できる場を整備する。

主な事業内容

国道252号を「おもてなしの道路」と位置づけ、来訪者が休憩・交流・視点場として利用できる

ホットスペース整備

を行いました。



事業概要図

国道252号ビューポイントマップ



地域の現状

金山町、三島町、柳津町は奥会津地方に位置しており、只見川に代表される「只見柳津県立自然公園」などの雄大な自然に囲まれており、昔懐かしいふるさとの原風景が残っています。また、只見川と平行して走る国道252号は、尾瀬国立公園の玄関口としても、より多くの来訪者が期待されます。

只見川などの雄大な地域資源を活かし、交流人口の拡大や定住を目指した様々な取り組みがなされています。

地域づくりのあゆみ

平成19年 ・国道252号沿いに簡易な駐車施設を整備。（金山町大志地区、柳津町麻生地区）

平成20年 ・国道252号沿いに簡易な駐車施設を整備。（金山町下大牧地区）

実施した感想

（県担当者）

■今回の整備によりスペースが多く活用できた箇所においては、当初の目的どおり道路利用者（観光バス含む）に休憩地として利用されているものの、小規模なスペースを活用した箇所においては、景観がよくても利用が少ない傾向にあり、整備する箇所については、自動車類の停車のしやすさも重要であると感じました。

元気づくりの立役者たち

只見川



農村集落



事業の効果

■地域資源の磨き上げと愛着の醸成

ビューポイントの整備を機に、地元と県が管理協定を締結し、地域住民が清掃活動や植栽管理を行っています。

■交流人口の拡大

多くの方が、訪れています。



■その他の効果

朝日新聞の『日本のふるさと100選』に選ばれました。



地域の課題・今後の展望

整備されたスペースの維持管理については、地元と管理協定を結び定期的に除草や清掃活動を実施していただいておりますが、平日・日中は高齢者が多いという地域であるため、道路利用者等が捨てたゴミなどをより頻度をあげて美化を徹底することは難しい状況にあります。

一度ゴミを置いたままにすると、ゴミ捨て場と化することから、美化を維持することが課題であります。